

■ 奨学金制度【JNZPFニュージーランド留学特別奨学金】

日本＝ニュージーランド・パートナーシップ・ファウンデーション(JNZPF)は1995年、教育を通じた日本とニュージーランドの人的交流促進のために設立されました。ニュージーランドの大学における教育の機会を提供し、日本とニュージーランドの相互理解の促進に貢献できる人材を育成するため、奨学生を募集します。

審査対象：出願時に奨学生審査を申請した方のうち、入学審査結果の総合評価が高い方へ支給されます。

入学審査日と同日に審査を実施いたします。

(注1)「専願」での出願者のみが対象です。「併願」で出願される方は申請できません。

(注2)「指定校推薦」での出願者は、奨学金と指定校特典の両方を受けることはできません。

* 支給対象者には、奨学金種類AまたはBの判定を本学より通知いたします。

* 結果通知書は、入学審査可否通知と併せて申請者全員に郵送いたします。

募集人数および給付額（返済不要）

奨学金種類	JNZPF特別奨学金	
	A	B
募集人数	3名	5名
給付額(年間)	1科目につき1,000NZドル (年間最大8,000NZドルまで)	1科目につき500NZドル (年間最大4,000NZドルまで)
充当対象	授業料	
支給期間	卒業までの最長4年 *更新審査有り(毎学期)	

審査項目 ※学業部門・一芸部門のいずれかを選択

	奨学金種類	JNZPF特別奨学金	
		A	B
学 業 部 門	学業成績・英語力でアピールする場合		
	高校在学中の平均出席率	90% 以上	
	高校調査書の評定平均値	4.0 以上	
	英語の成績が次のいずれかに該当		
	IELTS アカデミック版	バンド 6.0 以上	バンド 4.5 以上
	TOEFL iBT	60 以上	42 以上
一 芸 部 門	実用英語技能検定(英検)	準1級 以上	2級 以上
	高校調査書の英語の評定平均値	4.5 以上	4.0 以上
	下記例の他、ご自身の強みやこれまでの活動でアピールする場合		
	リーダーシップ (指導力)	例)クラブのキャプテン、同好会運営経験者、ボランティア活動への積極的参加者	
特技	例)楽器演奏、スポーツ、ダンス、コンピューターなど、学業以外に秀でている技能を有する者		
パーソナリティ	例)選考時の面接で人物優秀と認められる者		

奨学金申請時に必要な書類（出願書類と併せて提出するもの）

1. 奨学金申請書（本冊子綴込のもの） ※学業部門、一芸部門のいずれかを選択。
2. 在学している高等学校長の推薦書（本冊子綴込のもの）
既に高等学校を卒業された方は、推薦状の代わりに「自己推薦書」を提出。
自身の強みや奨学生として大学に貢献できる事など、自由に書いてください。
※ A4サイズ用の紙に、日本語400字程度でタイピングすること。
3. 英作文課題：「What lessons have you learnt from failure and success?」
※ A4サイズの用紙に、英語400語程度でタイピングすること。
4. 英語力を示す資格や検定結果の証明書コピー（A4サイズ用紙で提出） ※学業部門での申請の場合は必須。
5. （一芸部門で申請する場合）出願に至った理由を証明する資料
※これまでの活動を証明できる証明書、写真、記事、自己PRなど。形式は自由。

- * 上記のほか、出願自体に必要な書類と併せて日本事務局まで郵送してください。
提出書類は 募集要項「出願書類」の「奨学金申請」欄をよく確認してください。

更新条件

JNZPF特別奨学金	
履修科目の出席率 (学期毎に審査)	平均90%以上
履修科目の成績 (学期毎に審査)	すべて合格かつ平均B以上(*1)
所属学部	Bachelor of Contemporary International Studies (BCIS)プログラムに進むこと、 または入学時点で同プログラムに進む意思のあること(*2)
<p>(*1) 成績は9段階制であり、平均成績は各科目の成績を評定値に置き換えて算出する。評定値は、A+の9.0が最も高く、成績が下がると1.0ポイントずつ下がる。 例)ある学期で4科目を履修し、それぞれの成績が1科目でA、2科目でB、1科目でC+の場合 → 評定値は合計21.0(8.0+5.0+5.0+3.0)であり、平均値を求めると5.25となる。これはBの評定値である5.0を上回っており、更新条件を満たしている。</p> <p>(*2) 特例として、在学初年度の最長12カ月間に限り、現代国際学部 実践教育学科 英語コース(基礎英語教育)への所属を認める。同課程を終えた後にBCISプログラムへ進まなかった場合、状況に応じて次のいずれかの措置が取られる。</p> <p>a. 基礎英語教育を終えた時点でBCISプログラムに進む意思のない場合 → 奨学金給付を停止</p> <p>b. BCISプログラムにいったん所属した後、NZ Diplomaプログラムに転科した場合 → 転科した年度に給付された奨学金はJNZPF側に返金しなければならない。</p>	
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本とニュージーランドおよび諸国間の異文化交流と相互理解を促す活動、下級生の語学力向上を促す活動、大学の広報活動等に参加すること。 2. JNZPF および IPU New Zealand の名誉を傷つける行為に及んでいないこと。 3. IPU New Zealand の学則およびニュージーランド国の法律をそれぞれ全面的に順守していること。 4. 学費を適時に納入していること。 5. その他、奨学生として適切ではない行為があったとJNZPF または IPU New Zealand によって判断される行為に及んでいないこと。 6. 退学した場合には給付済み奨学金を全額返還すること。

JNZPFニュージーランド留学特別奨学生 奨学金申請書

<input type="checkbox"/>	学業部門	<input type="checkbox"/>	一芸部門	<input type="checkbox"/> リーダーシップ(指導力) <input type="checkbox"/> 特技 <input type="checkbox"/> パーソナリティ
フリガナ				
出願者氏名 : ㊟				
生年月日 : 西暦 年 月 日			性別 : <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	
学校名 :				
(複数キャンパスがある学校の場合、キャンパス名まで記入すること)				
卒業年月 : 西暦 年 月 (<input type="checkbox"/> 卒業 <input type="checkbox"/> 卒業見込み)				
申請理由 (留学目的を踏まえ日本語でご記入ください)				
フリガナ				
保護者/保証人名 : ㊟				
フリガナ				
現住所 : 〒				
電話番号 :				
勤務先 :				

JNZPFニュージーランド留学特別奨学生
推 薦 書

日本＝ニュージーランド・パートナーシップ・ファウンデーション御中

20 年 月 日

学校名

校長名



下記の生徒は 年 月に本校を卒業する見込みであり、
貴団体の奨学生に適する者と認め、ここに推薦します。

推薦理由

記

フリガナ

生徒氏名

生年月日 西暦 年 月 日生